

# 質疑並びに一般質問

## 柏清風

### 円谷憲人

6日間にわたり、18人の議員が質問しました。ここでは、その一部をお知らせします。この記事は各質問者が作成しています。



給水所の開設には人員確保が課題

●5月19日の断水の教訓と今後の防災・安全対策  
○断水当日、市民への情報提供がくれたように思える。

○午前10時10分にメールで「正午に断水」という趣旨のお知らせを行ったが、防災行政無線は影響の大きさを考え、断水が確実にいつからの放送となった。結果的には情報伝達ができてしまい反省している。今後は情報収集・分析を迅速かつ的確に行い、情報の早期提供に努めたい。

○災害時の地区災害対策本部や避難所等は、指定管理者制度導入後も市が責任を持って開設する。夜間や休日においても、同様に対応する。災害用備品等の管理は、指定管理者の業務として募集時の仕様書に明記する。



指定管理が導入されるアミュゼ柏

○ふるさと協議会の補助金減額の是非を問う  
○ふるさと協議会は、地域活動を支える団体だ。補助金の減額はその地域活動を縮小させてしまふのではないか。

○民間とタッグを組んでスポーツ施設整備を  
○スポーツ振興は大切なことだが、財政状況を考えると市が運動施設を独自に整備するのは難しいと思うがどうか。

○現在、全国で普及している防災ラジオが「アナログ方式」であるのに対して、本市の防災行政無線は「デジタル方式」となっている。また、デジタル対応型の防災ラジオが、現時点では量産されていない。このため、ラジオの生産には一台につき、数万円のコストがかかってしまいう現状にある。このような状況にあるため、現時点における防災ラジオの導入は困難であるが、今後もメーカーの動向や価格を注視しつつ、検討していきたい。

○南柏駅前交差点の歩行者の安全確保のために、早期に取り組むことのできる実現性の高い対策は、今谷上町の稲荷神社側に歩行空間を確保することであると考えている。関係する地権者等から協力を得て、対策を進めていきたい。

○近隣センターも兼ねるアミュゼ柏に指定管理者を導入する議案が提出されている。近隣センターは災害時に大きな役割を果たすが、休館日や夜間に災害が起きた場合の対応は、

○資産の有効活用のため、広告事業拡充を  
○緊縮財政改善のためには、さまざまな形で財政改革に取り組まなくてはならない。その第一歩として公用車への広告掲載を提案する。

○防災・災害対策について  
○昨年の東日本大震災の際の教訓を踏まえ、東京都では都内の企業等に、従業員のための3日分の水・食糧の備蓄を促す「東京都帰宅困難者対策条例」が制定された。本市の企業や学校に通う市外在住者は1日7万人を数えると思われる。本市に

○千葉市ではラジオ局のペイオフや千葉テレビ等と防災協定を結び、災害情報発信のための協力体制を築いていると伺っている。本市においても、災害情報の発信のため、メディア関連企業との連携強化により積極的に取り組むべきと考えられているが、

○現時点では、月額・日額の併用などが見直しを検討しているが、報酬額や支給方法を定める、市民の理解を得られるような支給となるべく、努めていきたい。

○交通安全対策について  
○南柏駅東口の駅入り口交差点については、以前から地元の方等より、歩行者の安全確保に向けた取り組みを強化するよう、本市に対して要望が示されていると伺っている。今後、具体的にどのような安全対策を講じていくのか。

**会議録**  
(http://www.city.kashiwa.lg.jp/)  
本会議の内容を記録した会議録をホームページから閲覧できます。  
キーワードや発言者での検索にも対応しています。  
会議録は図書館本館や近隣センターの図書館分館にも配架しています。